

抵抗性ヒメクグはもうこわくない 作用機作の違う除草剤

ヒメクグの発生前～発生初期に処理。

日本芝の根部に対する影響が少ないので、薬害が少ない。
一年生イネ科雑草にも発生前処理で有効。

ヒメクグの密度が高い場合

インプールD Fで密度を下げて、ハブーン乳剤の連続散布で叩く。

●インプールシステム

1回目

3月下旬

インプール0.04g/m² と ハブーン0.8~1ml/m² の 混用処理

2回目

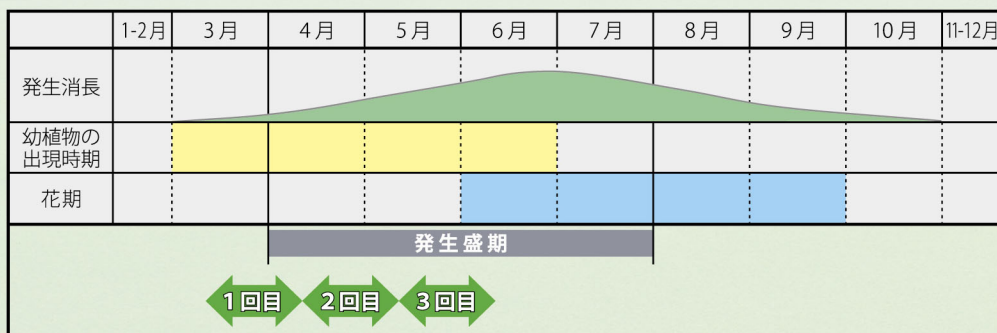
4月下旬

ヒメクグの再生が見られたら ハブーン0.8~1ml/m²

3回目

5月下旬～6月上旬

もしヒメクグが再生してきたら ハブーン0.8~1ml/m²



除草剤

ハブーン[®] 乳剤

芝地で問題になる

ヒメクグ

防除薬剤

●ハブーン乳剤のスペクトラム（雑草発生前処理）

カヤツリグサ科	ヒメクグ	◎	オオバコ科	タチイヌノフグリ	◎	シソ科	ホトケノザ	○
	コゴメカヤツリ	◎		ウラボシコチコグサ	○		ヒメオドリコソウ	○
イネ科	メヒシバ	◎	キク科	アレチノギク	○	ナデシコ科	オランダミミナグサ	○
	アキメヒシバ	◎		ヒメムカシヨモギ	○		ハコベ	○
	オヒシバ	◎	キク科	タンポポ	△	マメ科	カラスノエンドウ	△
	スズメノカタビラ	◎		ヒメジョオン	○		スズメノエンドウ	△
	エノコログサ	◎		ノボロギク	○		ヤハズソウ	△
	スズメノテッポウ	◎	アブラナ科	タネツケバナ	○	ヒユ科	アオビユ	○
	スズメノヒエ	○	トウダイグサ科	コニシキソウ	○			

除草効果 ◎：大 ○：中 △：小 ×：無

●適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量 (ml/m ²)		本剤およびアラクロールを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量	
日本芝	一年生雑草	春夏期 雑草発生前	全土壌	0.6~1.0	250	3回以内
日本芝 (こうらいしば)	ヒメクグ	春夏期 ヒメクグ発生前 ～発生初期				
	一年生雑草	秋冬期 雑草発生前		0.6~1.2		
西洋芝 (ケンタッキー ブルーグラス)		春夏期 雑草発生前		0.6~1.0	200~300	

(荷姿 2ℓ×6 有効期限5年)

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 本剤は、一年生雑草の発芽後ではほとんど効果がないので、一年生雑草の発芽前に散布すること。
- タデ科、アカザ科などの広葉雑草には効果が劣るのでイネ科雑草優占圃場で使用すること。
- ヒメクグに使用する場合は、1回目処理はヒメクグ発生前に散布し、反復処理をする場合はヒメクグ発生前から発生初期に散布すること。なお、発生初期のヒメクグに対しては、低薬量では効果が劣る場合があるので、所定範囲の高薬量で使用する事が望ましい。
- 有機物を含む土壌や粘質土では、効果が劣る場合があるので、所定範囲の高薬量で使用する事が望ましい。
- 本剤の散布や、調製に使用した器具類は、使用後水で十分洗浄すること。
- 本剤は自動車などに散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないように注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。万一飲み込んだ場合には、吐き出さず安静にして直ちに医師の手当てを受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、安静にして直ちに医師の手当てを受けてください。
- 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調整時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当てを受けてください。

- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。

■魚毒性等

- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意（藻類）。使用残りの薬液が生じないように調製し、使いきる。散布器具・容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

■引火性

- 本剤は危険物第4類第2石油類に属するので、火気には十分注意してください。

⚠ 貯蔵上の注意

- 火気や直射日光を避け、食品と区別して、低温で子供の手の届かない場所に密栓して保管してください。

[PRTR該当成分] PRTR1種 101 アラクロール………43.0%
1種 125 クロロベンゼン………50%

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



日産化学株式会社

Lawn & Specialty Products

お問い合わせ

・北海道 / 東北 / 関東 / 甲信越の皆様は…… 営業本部 緑化営業部 TEL: 03-4463-8290 FAX: 03-4463-8291
 ・近畿 / 中国 / 四国の皆様は…………… 大阪オフィス 緑化営業部 TEL: 06-6346-7150 FAX: 06-6346-7230
 ・東海 / 北陸の皆様は…………… 名古屋オフィス 緑化営業部 TEL: 052-452-8614 FAX: 052-452-8621
 ・九州 / 沖縄の皆様は…………… 福岡オフィス 緑化営業部 TEL: 092-432-3421 FAX: 092-473-3891